

目次

I. 総括研究報告

医療 AI の研究開発・実践に伴う倫理的・法的・社会的課題 に関する研究	(井上 悠輔)	-----	1
---	---------	-------	---

II. 分担研究報告

1 疾患予測ツールの位置づけとリスク対応に関する研究	(一家 綱邦)	-----	24
2 診療録サマリー作成支援の AI をめぐる医師の意見から	(佐藤 雄一郎)	-----	30
3 心理学的支援への情報通信技術導入について	(菅原 典夫)	-----	39
4 医療 AI 研究開発における倫理的諸問題に関する資料の 基本項目の検討	(山本 圭一郎) (井上 悠輔)	-----	44
5 医療 AI の開発と利活用をめぐる諸課題と架空事例作成	(井上 悠輔他)	-----	57
6 医療用 AI 導入に関するフォーカス・グループ・インタ ビュー	(亀山 純子) (井上 悠輔)	-----	70

III. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	83
---------------------	-------	----

IV. 資料

資料 1 WHO 「医療・保健 AI の倫理ガバナンス」	-----	S1
資料 2 医療現場 AI 導入 3 事例の生活者グループインタビュー報告書	-----	S5
資料 3 医療 AI の展開を考える「倫理」の視点 (話題提供資料)	-----	S43

研究班の構成

研究代表者	井上 悠輔	(東京大学)
研究分担者	一家 綱邦	(国立がん研究センター)
研究分担者	井元 清哉	(東京大学)
研究分担者	佐藤 雄一郎	(東京学芸大学)
研究分担者	菅原 典夫	(獨協医科大学)
研究分担者	山本 圭一郎	(国立国際医療研究センター)
研究協力者	坂本 純子	(ささえあい医療人権センターCOML)
研究協力者	船橋 亜希子	(東京大学)
研究協力者	松川 紀代	(ささえあい医療人権センターCOML)
研究協力者	武藤 香織	(東京大学)
研究協力者	山口 育子	(ささえあい医療人権センターCOML)
研究協力者	亀山 純子	(東京大学)